**記入注意点令和5年度　福岡県相談支援従事者　初任者研修**

**受講完了確認書（レポート）**

初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

視聴後は必要事項を記入し、事務局へ郵送もしくはメールにて送信してください。

所属法人または事業所の署名捺印をお忘れなくお願いします。個人申込みの方は、個人印をお願いします。

**提出期限厳守**

メールで送付する場合は、捺印後のスキャンデータで問題ありません。

|  |  |
| --- | --- |
| 郵送先 | 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-2-10-5F  一般財団法人 保健福祉振興財団 福岡支部 福岡県相談支援初任者研修係  メールの場合：fukuoka\_info@hokenfukushi.or.jp  ※メール件名に必ず**「相談初任研　受講番号　氏名」を表記**してください。 |
| 提出期限 | **令和5年8月25日（金）17時必着　※当日消印有効ではありません** |

講義（ｅラーニング）視聴終了日　　　　年　　　月　　　　日

私は本講義の全動画（約11.5時間）を視聴いたしました。

受講番号：　　　　　　　氏名： 　　　　　　　　　　　　　印

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目名 | | レポート  確認欄 |
| 記入例 | 視聴完了後、記入したレポート科目にチェック | ✔ |
| 【講義１-１】 | 相談支援（障害児者支援）の目的  **管理者（レポート確認）の方へ**  **空欄がなく全て記入されているか**  **確認後に✓を記入ください** |  |
| 【講義１-２】 | 相談支援の基本的視点（障害児者支援の基本的視点） |  |
| 【講義１-３】 | 相談支援に必要な技術 |  |
| 【講義２-１-１】  【講義２-１-２】 | 相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス  チームアプローチ（多職種連携） |  |
| 【講義２-２】 | 相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点 |  |
| 【講義３-１】 | 障害者総合支援法等の理念・現状とサービス提供 プロセス及びその他関連する法律等に関する理解  **管理者（レポート確認）の方へ**  **法人名、事業所名記入後、署名捺印をお願いします**  **（個人申込みの場合は受講者自身の署名捺印）** |  |
| 【講義３-２】 | 障害者総合法律及び児童福祉法における相談支援 (サービス提供)の基本 |  |

上記の者が、講義の全動画を視聴したことを証明します。

　　　　令和　　　　　年　　　　月　　　　日

法人印

または

事業所印

法人名・事業所名

氏　　名

自己評価について

※獲得目標ごとの理解度を受講前と受講後、10段階で自己評価してください（1：低い～10：高い）。

**受講者の方へ**

**全ての講義について**

**以下3ヶ所必ず記入してください**

1. **講師名**
2. **自己評価（1～10の数字）**
3. **気づきや理解した点等（50字以上）**

**※空欄や内容に不備があった場合、再提出となります。**

［受講前］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［受講後］①受講後の学習効果を確認する。②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

**①**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | | 【講義１-１】 | 講師名 | | | |  | |
| 相談支援（障害児者支援）の目的 | | | テキストページ | | | ２０～３２頁 |
| 獲得目標 | | | | 自己評価 | | | 気づきや理解した点等 | |
| 受講前 | | 受講後 |
| 1 | 相談支援専門員のミッション①は障害者の地域生活の実現（継続）であることについて説明できる。  **②** | | |  | |  | **③** | |
| 2 | 相談支援専門員のミッション②は障害者の自立と尊厳の確保、社会参加であることについて説明できる。 | | |  | |  |
| 3 | 相談支援専門員のミッション③は障害者の自己決定（意思決定）やリカバリーへの支援であり、そのためにはエンパワメントやストレングスの視点が必要であることが説明できる。 | | |  | |  |
| 4 | 相談支援専門員のミッション④は障害のある人も含めた誰もが暮らすことのできる地域づくりであることについて説明できる。 | | |  | |  |

**毎年度、自己評価（受講前・受講後）、気づきや理解した点等の一部記入漏れが目立ちます。**

**必ず提出前に、全て記入しているか、再度ご確認ください。**

**提出前チェック項目**

**□受講番号、署名捺印がある**

**□レポート確認欄へ管理者（レポート確認者）に内容を確認してもらい✓が記入されている**

**（個人申込の場合は受講者自身で記入）**

**□管理者（レポート確認者）の署名捺印がある**

**（個人申込の場合は受講者自身の署名捺印）**

**□【講義1-1】から【講義3-2】まで、講師名、自己評価（受講前・受講後）、気づきや理解した点等が全て記入されている**

**□郵送の場合、宛名に「福岡県相談支援初任者研修係」と記入されている**

**□メールの場合、件名に「相談初任研　受講番号　氏名」が入力されている**

**令和5年度　福岡県相談支援従事者　初任者研修**

**受講完了確認書（レポート）**

初任者研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。

視聴後は必要事項を記入し、事務局へ郵送もしくはメールにて送信してください。

所属法人または事業所の署名捺印をお忘れなくお願いします。個人申込みの方は、個人印をお願いします。

メールで送付する場合は、捺印後のスキャンデータで問題ありません。

|  |  |
| --- | --- |
| 郵送先 | 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4-2-10-5F  一般財団法人 保健福祉振興財団 福岡支部 福岡県相談支援初任者研修係  メールの場合：fukuoka\_info@hokenfukushi.or.jp  ※メール件名に必ず**「相談初任研　受講番号　氏名」を表記**してください。 |
| 提出期限 | **令和5年8月25日（金）17時必着　※当日消印有効ではありません** |

講義（ｅラーニング）視聴終了日　　　　年　　　月　　　　日

私は本講義の全動画（約11.5時間）を視聴いたしました。

受講番号：　　　　　　　氏名： 　　　　　　　　　　　　　印

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科目名 | | レポート  確認欄 |
| 記入例 | 視聴完了後、記入したレポート科目にチェック | ✔ |
| 【講義１-１】 | 相談支援（障害児者支援）の目的 |  |
| 【講義１-２】 | 相談支援の基本的視点（障害児者支援の基本的視点） |  |
| 【講義１-３】 | 相談支援に必要な技術 |  |
| 【講義２-１-１】  【講義２-１-２】 | 相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス  チームアプローチ（多職種連携） |  |
| 【講義２-２】 | 相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点 |  |
| 【講義３-１】 | 障害者総合支援法等の理念・現状とサービス提供 プロセス及びその他関連する法律等に関する理解 |  |
| 【講義３-２】 | 障害者総合法律及び児童福祉法における相談支 援(サービス提供)の基本 |  |

上記の者が、講義の全動画を視聴したことを証明します。

　　　　令和　　　　　年　　　　月　　　　日

法人印

または

事業所印

法人名・事業所名

氏　　名

自己評価について

※獲得目標ごとの理解度を受講前と受講後、10段階で自己評価してください（1：低い～10：高い）。

［受講前］①本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［受講後］①受講後の学習効果を確認する。②今後の実践や学びに向けた指針を確認する。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | | 【講義１-１】 | 講師名 | | | |  | |
| 相談支援（障害児者支援）の目的 | | | テキストページ | | | ２０～３２頁 |
| 獲得目標 | | | | 自己評価 | | | 気づきや理解した点等 | |
| 受講前 | | 受講後 |
| 1 | 相談支援専門員のミッション①は障害者の地域生活の実現（継続）であることについて説明できる。 | | |  | |  |  | |
| 2 | 相談支援専門員のミッション②は障害者の自立と尊厳の確保、社会参加であることについて説明できる。 | | |  | |  |
| 3 | 相談支援専門員のミッション③は障害者の自己決定（意思決定）やリカバリーへの支援であり、そのためにはエンパワメントやストレングスの視点が必要であることが説明できる。 | | |  | |  |
| 4 | 相談支援専門員のミッション④は障害のある人も含めた誰もが暮らすことのできる地域づくりであることについて説明できる。 | | |  | |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | | 【講義１-２】 | 講師名 | | | |  | |
| 相談支援の基本的視点（障害児者支援の基本的視点） | | | テキストページ | | | ３３～５７頁 |
| 獲得目標 | | | | 自己評価 | | | 気づきや理解した点等 | |
| 受講前 | | 受講後 |
| 1 | 障害について正確に説明できる。（医学モデルと社会モデル） | | |  | |  |  | |
| 2 | スティグマについて説明できる。 | | |  | |  |
| 3 | 個別性の重視、リカバリーについて説明できる。 | | |  | |  |
| 4 | 生活者視点、ＱＯＬの重視について説明できる。 | | |  | |  |
| 5 | 本人主体、本人中心の支援について説明できる。 | | |  | |  |
| 6 | 自己決定（意思決定）の支援について説明できる。 | | |  | |  |
| 7 | エンパワメント支援、ストレングスを活かした支援について説明できる。 | | |  | |  |
| 8 | 権利擁護について説明できる。 | | |  | |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | | 【講義１-３】 | 講師名 | | | |  | |
| 相談支援に必要な技術 | | | テキストページ | | | ５８～７７頁 |
| 獲得目標 | | | | 自己評価 | | | 気づきや理解した点等 | |
| 受講前 | | 受講後 |
| 1 | 障害児者の相談支援が立脚するソーシャルワークの理論について説明できる。 | | |  | |  |  | |
| 2 | ケアマネジメントの目的・基本的構造・プロセスについて説明できる。 | | |  | |  |
| 3 | 相談面接技術と記録とその重要性について説明できる。 | | |  | |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | | 【講義２-１-１】【講義２-１-２】 | 講師名 | | | |  | |
| 相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス・チームアプローチ（多職種連携） | | | テキストページ | | | ８０～１０８頁 |
| 獲得目標 | | | | 自己評価 | | | 気づきや理解した点等 | |
| 受講前 | | 受講後 |
| 1 | ケアマネジメントの展開およびサービス等利用計画作成について、流れと留意点を説明できる。 | | |  | |  |  | |
| 2 | 多職種連携及びチームアプローチとその必要性・効果について説明できる。 | | |  | |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | | 【講義２-２】 | 講師名 | | | |  | |
| 相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点 | | | テキストページ | | | １０９～１２５頁 |
| 獲得目標 | | | | 自己評価 | | | 気づきや理解した点等 | |
| 受講前 | | 受講後 |
| 1 | 障害者のある本人の意思と家族の思いや要望に違いがある場合、相談を受けた支援者としてどういった役割を果たしていけばいいのか説明できる。 | | |  | |  |  | |
| 2 | 最新の地域資源に関する情報を幅広く得るために、日頃からどういった活動を行なっていくことが大切なのかを具体的に説明できる。 | | |  | |  |
| 3 | 「地域課題」がどのように見出されるのかを説明できる。 | | |  | |  |
| 4 | （自立支援）協議会の目的について、「社会資源の開発」という言葉を使って説明できる。 | | |  | |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | | 【講義３-１】 | 講師名 | | | |  | | |
| 障害者総合支援法等の理念・現状とサービス提供プロセス及びその他関連する法律等に関する理解 | | | テキストページ | | | | １２８～１７９頁 |
| 獲得目標 | | | | 自己評価 | | | | 気づきや理解した点等 | |
| 受講前 | | 受講後 | |
| 1 | 障害福祉施策の経緯と動向、障害者総合支援法の概要ついて理解する。 | | |  | |  | |  | |
| 2 | 障害福祉サービス等の利用の仕組みについて理解する。 | | |  | |  | |
| 3 | 苦情解決制度及び不服審査の仕組みついて理解する。 | | |  | |  | |
| 4 | 障害福祉制度と介護保険制度の関係性について理解する。 | | |  | |  | |
| 5 | 障害福祉計画及び障害児福祉計画の概要について理解する。 | | |  | |  | |
| 6 | 地域生活支援拠点等の位置付けと機能について理解する。 | | |  | |  | |
| 7 | 自立支援協議会の位置付けと機能について理解する。 | | |  | |  | |
| 8 | 障害者支援における権利擁護と虐待防止にかかる法律の概要について理解する。 | | |  | |  | |
| 9 | 障害福祉サービス等の提供における意思決定支援ガイドラインについて理解する。 | | |  | |  | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | | 【講義３-２】 | 講師名 | | | |  | | |
| 障害者総合支援法及び児童福祉法における相談支援(サービス提供)の基本 | | | テキストページ | | | | １８０～１９７頁 |
| 獲得目標 | | | | 自己評価 | | | | 気づきや理解した点等 | |
| 受講前 | | 受講後 | |
| 1 | 相談支援事業の成り立ち（経緯）と相談支援事業の体系について理解する。 | | |  | |  | |  | |
| 2 | 相談支援専門員の役割について理解する。 | | |  | |  | |
| 3 | 利用者の権利擁護や虐待防止を図るうえで相談支援専門員が果たす役割を理解する。 | | |  | |  | |
| 4 | 障害福祉サービス等提の仕組みにおける相談支援（運営に関する基準やモニタリング等）について理解する。 | | |  | |  | |
|  | 相談支援専門員とサービス管理責任者等の役割について理解する。 | | |  | |  | |